



十勝川治水100年
トークリレー 100年
®

「音更川のせせらぎに朝日に映えて、そびえ立つ」。朝歌の冒頭にも登場する十勝川水系音更川は、本校や地域にとつてとても身近な存在です。学区である音更町宝来地区やひびき野地区に住む多くの子どもたちは、通学路である宝来大橋や十勝新橋から日々変化する川の景色を眺める中で、川に親しみを感じ、興味や関心を広げています。本校では、川が身近にある環境の利点を生かし、外部講師との連携による多様な教育活動を推進しています。その一方、最近では2016年の大雨時に学校東堤防脇のパークゴルフ場が浸水し、危険を感じた経験もあり、日常より

十勝川治水100年記念事業

トークリレー



木野東小学校
教頭 大西 啓就 氏



十勝毎日新聞
令和5年9月28日 3面 掲載

木野東小学校教頭 大西啓就さん



水災害危機意識高める

水災害に対する危機意識を学校全体で高めています。そのため、学校では、以前より水災害から命を守る教育を充実させています。18年からは4年生を対象に、理科で「川の水の仕組み」、社会で「洪水から暮らしを守る人たちの仕事」を学習。学びを深めながら総合的な学習の時間でも北海道開発局や音更町役場と連携し、「水災害からの避難訓練ガイドブック」を活用し、具体的な避難の心得や浸

水地域を理解した上で、水災害時の避難場所である下音更中学校への避難訓練を行い、自然災害から危機回避できる力を育成しています。

十勝川治水100年の継続的な取り組みにより、地域の安全が守られ、本校では充実した教育活動が展開されています。来年、本校は50周年を迎えます。今までの経験や体験を生かし、学校全体で水災害に対する意識を持続させるとともに、今後も身近な川に愛着を持つ子どもたちを育成したいと思えます。

◆ 十勝川の治水事業は今年、100周年の節目を迎えた。治水事業と関わりのある関係者の思いや将来に向けたメッセージを紹介する。
(随時掲載)